

# 兵庫 2030 年の展望リーディングプロジェクトの設定

## 1 趣 旨

「兵庫 2030 年の展望」で描いた将来像の実現に向け、未来を拓く先駆的な取組を「リーディングプロジェクト」として設定し、市町・企業・大学・団体等と連携して推進する。

## 2 プロジェクト数

展望で掲げた「3つの基本方針」と「11の将来像」のもと、16のプロジェクトを設定

### I 「未来の活力」の創出

- ① 起業立県実現プロジェクト
- ② 先端産業創造プロジェクト
- ③ 全員活躍プロジェクト
- ④ 価値創造人材育成プロジェクト
- ⑤ 水素社会先導プロジェクト
- ⑥ 御食国ひょうごプロジェクト
- ⑦ 豊かな森・海再生プロジェクト

### II 「暮らしの質」の追求

- ⑧ スポーツ・フォー・ライフ推進プロジェクト
- ⑨ つながる芸術文化プロジェクト
- ⑩ 在宅強化・健康寿命延伸プロジェクト
- ⑪ 防災・減災加速プロジェクト
- ⑫ まちなか安心プロジェクト

### III 「ダイナミックな交流・環流」の拡大

- ⑬ 体験ツーリズムプロジェクト
- ⑭ 外国人安心プロジェクト
- ⑮ 次世代移動・買い物プロジェクト
- ⑯ 空間再生プロジェクト

## 3 プロジェクトの特徴

### ① 兵庫の強みの発揮

- 成長産業分野（航空、エネルギー、スポーツ、健康・医療等）ごとに産学官のコンソーシアムを組成し、新技術開発等の先端プロジェクトを展開（②先端産業P）
- 国内初の事業用水素発電の実現など、水素大量消費時代の国際拠点を形成（⑤水素P）
- 広域防災センターの機能強化等により、全国的な防災人材育成拠点を構築（⑪防災P）
- 外国・外資系企業の誘致強化やすべての外国人が安心して暮らせる地域の形成を推進（⑭外国人P）

### ② 新時代の基盤構築の加速

- 大阪・京都と連携し、国内屈指の起業環境を備えるグローバル拠点都市を創出（①起業P）
- ネットワークの拡大やひょうごジョブコーチ制度の創設など、全員活躍を支える基盤を強化（③全員活躍P）
- 世界レベルのスポーツを体感できる大規模アリーナの整備を検討（⑧スポーツP）
- 在宅サービスの充実に加え、介護ロボット等の先導的普及も図り、在宅医療・介護基盤を構築（⑩健康P）
- デマンド型交通やドローン配送など、新たな移動・買い物の仕組みを構築（⑮移動・買い物P）

### ③ 先端技術の実装

- AI、ドローン、センサー等を最大限に活用する農・畜・林・水産業のスマート化を推進（⑥御食国P、⑦森・海P）
- がんや認知症の予測システムの開発など、健康寿命を延ばすデジタルヘルスを推進（⑩健康P）
- AIを活用した犯罪捜査や防犯活動等の高度化を推進（⑫まちなか安心P）
- 先端技術で新たな価値を生む人材を育てる兵庫型 STEAM 教育を展開（④人材育成P）

## 4 推進期間

2020～2030 年度

## 5 フォローアップ等

- ・毎年度の県重点施策に位置づけて推進
- ・推進状況を毎年度フォローアップ（前年度の成果・課題を整理し9月に公表）するとともに、それを踏まえて必要な施策を検討実施

# 兵庫 2030 年の展望リーディングプロジェクト（概要版）

## I 「未来の活力」の創出

◎：主管部局

### 1 起業立県実現プロジェクト

◎産労

#### ◆ 施策の方向性

(①価値創造経済,②全員活躍社会)

##### (1) スタートアップ・エコシステム拠点都市の創出

- ・大阪、京都とともに関西3地域が連携し、国内屈指の起業環境を備えるグローバル拠点都市を整備
- ・UNOPSや神戸市、県内外の企業と連携し、起業家のステップアップに必要な支援機能を強化
- ・スタートアップビザ制度（起業家向け在留資格の特例）の全県展開など、外国人起業家の参入を拡大
- ・高等学校や大学などと連携した若年層への起業家教育を展開

##### (2) チャレンジを支えるファンドスキームの構築

- ・スタートアップの成長段階（シード期、アーリー期等）に応じた金融支援を充実強化

##### (3) 新たなイノベーション拠点の創出

- ・三宮再開発に合わせて、起業家、クリエイターなど多様な主体が交流する新たなイノベーション拠点の整備を検討

(参考) R2当初計 164,537千円（GIC(グローバルイノベーションセンター)の開設・整備、スタートアップビザの拡大等)

### 2 先端産業創造プロジェクト

◎産労、政策、健康

#### ◆ 施策の方向性

(①価値創造経済)

##### (1) 成長産業のイノベーション創出サイクルの形成

- ・成長産業分野（航空・宇宙、環境・エネルギー、ロボット・AI・IoT、健康・医療）ごとに、トップレベルの専門人材と企業・研究機関を結ぶコンソーシアムを組成し、実証研究や新技術開発など、最先端のプロジェクトを展開

##### (2) マテリアル革命の先導

- ・物質・材料分野での革新的技術開発の活性化に向け、分散する科学技術基盤（SPRING-8、SACLA、富岳、FOCUSスパコン、金属新素材研究センター等）を一元的に利用できるテストベッド（実証実験基盤）を構築
- ・放射光研究センターの機能強化等により、MI（マテリアルズ・インフォマティクス）を活用した新製品開発支援を強化

##### (3) 革新技術による中小企業の生産性向上

- ・「スマートものづくりセンター」を設置し、県内中小企業のAI・IoT・ロボット等のデジタル技術実装を促進することにより、ものづくり産業の生産性を向上

(参考) R2当初計 267,188千円（成長産業育成コンソーシアム推進事業、県ビームライン成果創出サイクルの構築等）

### 3 全員活躍プロジェクト

◎産労、企画、女性、福祉

#### ◆ 施策の方向性

(②全員活躍社会,③充実する「自分時間」,⑤子育て安心社会)

##### (1) 誰もが働き続けられる社会づくり

- ・一人ひとりのライフスタイルやライフステージに応じた働き方ができるよう、テレワーク、ギグエコノミー、副業など、企業等と連携して働き方の選択肢を拡大
- ・就職氷河期世代を含むミドル世代の正規雇用化、シニア世代に適した仕事の切り出しやマッチング機能の強化など中高齢者の活躍を促進する仕組みを構築
- ・ひょうごジョブコーチ制度の創設や農福連携の強化など障害者が活躍できる環境整備を推進
- ・相談対応、居場所提供、就労支援まで、ひきこもり者の社会参加に向けた総合支援を展開

##### (2) リカレント教育の充実

- ・社会人の学ぶ意欲に応え、大学・専門学校や企業等と連携しリカレント教育を充実

##### (3) 人生100年時代のライフスタイル支援

- ・リタイア後等の自分時間の充実に向け、地域活動、ボランティア、生涯学習、楽農など、人生100年時代のライフスタイルを応援する仕組みを構築

(参考) R2当初計 89,311千円（多様な働き方推進事業、リカレント教育推進プロジェクトの実施等）

## ◆ 施策の方向性 (④未来に挑む人づくり ②全員活躍社会)

## (1) 革新技術で社会を先導する人材の育成

- ・データサイエンスに基づく課題分析や、AI・IoT等のテクノロジーの社会実装による課題解決など、新たな価値を創造する人材の育成に向け、兵庫県独自の教育システム（兵庫型 STEAM 教育※）を構築し県立高校で展開

※ STEAM 教育：Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（ものづくり）、Art（芸術）、Mathematics（数学）を統合的に学習する教科横断型の教育。単に理数や ICT に秀でた人材を育成するのではなく、テクノロジーや各教科学習を現実社会の問題に生かし解決方法をデザインする力を育成する。兵庫型はこれに English（英語）を加えた概念

- ・県内大学とも連携し、プログラミング、データサイエンス、実践的な語学教育等に対応できる教員を育成・確保

## (2) ICT の徹底活用

- ・一人ひとりの能力や適性に応じた学びや、地理的な格差のない学びの実現に向け、タブレット学習や AI 分析による学習指導、遠隔授業など、ICT を最大限に活用した教育を推進

(参考) R2 当初計 405,072 千円（新時代に対応した高校教育の推進（「STEAM 教育」の広報・周知）等）

## 5 水素社会先導プロジェクト

## ◆ 施策の方向性 (⑧環境先進地,①価値創造経済)

## (1) 水素の普及加速

- ・燃料電池自動車（乗用車・バス等）の拡大と水素ステーションベルトの創出、家庭用・事業用燃料電池の導入促進など、実用化段階にある水素アプリケーションの普及を加速

## (2) 水素利活用の新展開

- ・再生可能エネルギーの余剰電力を利用した水素の製造・貯蔵・利用のほか、避難所での水素備蓄や FCV からの電力供給等の災害時利用など、新たな水素利活用の研究・実証を推進

## (3) 水素大量消費時代を先導する国際拠点の形成

- ・未利用エネルギーから水素を製造し輸送する国際的サプライチェーンの拠点となる水素受入基地を誘致するとともに、国内初の事業用水素発電の実現に向けた研究・取組を推進
- ・工場地帯での水素自家発電、製造工程の化石燃料代替、住宅での純水素燃料電池活用など、サプライチェーン構築後の低コスト水素の活用を検討・推進

(参考) R2 当初計 66,653 千円（エネルギー先進の兵庫推進事業、水素ステーション整備事業 等）

## 6 御食国ひょうごプロジェクト

## ◆ 施策の方向性 (⑨御食国ひょうご,⑩交流五国)

## (1) 農のスマート化

- ・施設園芸に加え、土地利用型作物や露地野菜でも先端技術の導入を進めるなど、地域や営農条件に合わせて ICT、IoT、AI、ロボット、ドローン等を駆使したスマート農業を展開
- ・AI 画像解析等による健康管理、分娩監視、発情発見など、スマート技術を活用した畜産経営の促進

## (2) 次代の農業構造の創造

- ・経営の多角化や企業参入を促進し、収益力の高い基幹的地域農業法人を育成
- ・若年層（就農希望者、就職氷河期世代等）やセカンドキャリア、女性等をターゲットにした、新たな労働力の掘り起こしを展開
- ・小規模農家の放棄田防止対策を含め、農地の集積・活用に向けた取組を強化

## (3) 兵庫ブランドの輸出拡大

- ・神戸ビーフの輸出・流通の拡大に向け、情報発信や供給体制を強化（神戸ビーフ館の本格オープンや但馬牛増頭対策等）
- ・拡大する海外需要の取込みに向け、新たな輸出品目の開拓を強化

(参考) R2 当初計 153,565 千円（兵庫型スマート農業技術導入による競争力強化推進、基幹的地域農業法人確立支援 等）

## ◆ 施策の方向性

(⑨御食国ひょうご,⑧環境先進地)

## (1) ICT 等も活用した森林資源の活用・保全

- ・ドローンを活用した森林資源情報の集約、森林クラウドシステムによる施業計画策定、需給マッチングシステムによる効率的販売など、各段階で ICT を活用するスマート林業を展開
- ・スマート林業の展開とともに、団地化、林内路網の整備、高性能林業機械の導入等により、主伐・再造林、間伐等の低コスト施業体系を構築し、効率的な森林管理を推進
- ・「獣害被害ゼロ」の実現に向け、ドローンやセンシング技術などの ICT 活用等を推進

## (2) 豊かで美しい海の再生

- ・森・川・里・海の栄養塩循環メカニズムや食物連鎖構造の調査を全国に先駆けて推進
- ・放流魚種の見直しを進め、漁場環境改善効果が見込める種苗（ナマコ・アジアカエビ）の量産化を推進
- ・生物生息場の再生に向け、増殖場の機能を高める研究開発を進め、リノベーションを推進

## (3) 水産業のスマート化

- ・最新のシミュレーションモデルを用いた漁場形成予測をはじめ、資源管理、水揚げ、加工流通など各段階においてドローンやセンサー、ロボットなどを活用したスマート水産業を展開

(参考) R2 当初計 115,215 千円（リモートセンシング技術者養成研修の実施、瀬戸内海生産構造調査事業の実施 等）

## II 「暮らしの質」の追求

## 8 スポーツ・フォー・ライフ推進プロジェクト

## ◆ 施策の方向性

(③充実する「自分時間」,②全員活躍社会)

## (1) スポーツの感動を味わえる環境整備

- ・大規模アリーナをはじめ、県民誰もが世界レベルを体感し、スポーツに気軽に親しめる総合的な拠点の整備について、必要性、事業モデル、立地等の検討を実施
- ・アリーナについては、スポーツを核としたまちづくりを担う「スマート・ベニュー※」の観点から、多機能複合型の交流施設とすることを基本に検討

※スマート・ベニュー：周辺のエリアマネジメントを含む、複合的な機能を組み合わせたサステナブルな交流施設

## (2) 地域スポーツコミュニティの再構築

- ・誰もが気軽に参加できるスポーツ環境の整備や、競技力の向上、スポーツを通じた交流拡大等に向け、「スポーツクラブ 21 ひょうご」を含めた地域スポーツの環境を再構築
- ・女性アスリート・指導者の育成や女性が利用しやすい施設環境の整備など、女性スポーツを活性化

## (3) 障害者スポーツの活性化

- ・障害者総合トレーニングセンターをはじめ、県下全域に障害者が気軽にスポーツを楽しめる環境を整備
- ・パラスポーツのトップアスリートの発掘、養成、活躍の場の提供等を強化

(参考) R2 当初計 163,277 千円（「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業の実施、障害者スポーツ推進プロジェクト 等）

## 9 つながる芸術文化プロジェクト

## ◆ 施策の方向性

(③充実する「自分時間」,②全員活躍社会)

## (1) 「する・みる・支える」をつなぐ新しい仕組みの構築

- ・「ひょうごアーティストサロン」の機能を拡充し、芸術文化に親しむ県民のニーズと、新進アーティスト等のマッチング機能を強化
- ・新県民会館の整備や市町ホールへの支援の充実等により、芸術文化の鑑賞・発表機会を拡充し、県民・芸術家・拠点施設のつながりを深化

## (2) 地域プロジェクトの推進

- ・地域の特色を活かしたプロジェクトを展開し、芸術文化の感動と交流の裾野を各地で拡大  
 [神戸] 「ミュージアムロード&HAT」アートプロジェクト [阪神南] 阪神間モダニズム～「具体美術」～再発見プロジェクト  
 [阪神北] 暮らしアートプロジェクト [但馬] 但馬まるごと芸術の郷プロジェクト

(参考) R2 当初計 34,205 千円（地域プロジェクトを除く）（ひょうごアーティストサロンの機能拡充事業 等）



## ◆ 施策の方向性

(⑥進む健康長寿,①価値創造経済)

## (1) デジタルヘルス等を活用した健康寿命の延伸

- ・ パーソナルデータを活用した、がんや生活習慣病などの罹患リスクに対する個別予測ツールを開発
- ・ 生活や介護記録データを活用した、認知症のBPSD（行動・心理症状）出現予測システムを開発
- ・ 福祉のまちづくり研究所を核として、介護者の負担軽減や、被介護者の生活行動の拡大につながる介護ロボット等の研究開発、社会実装を推進

## (2) 在宅医療・介護の連携強化

- ・ 定期巡回サービス事業者の参入支援強化や訪問看護ステーションの機能充実、医療・介護の知識を併せ持つ人材の養成など、人生の最期まで家庭や地域で安心して暮らせる体制を構築
- ・ へき地等でも専門的な医療の受診を可能にする、AIを活用したへき地医師診療支援システムを開発

## (3) 県立病院のAIホスピタル化

- ・ AIやIoT等を活用した検査・画像診断解析や診療予約・受付の自動化など、県立病院の診療プロセスの効率化と患者サービスの向上を推進

(参考) R2当初計 546,393千円（ビッグデータの健康づくりへの活用促進、ロボットリハビリテーション拠点化推進等）

## 11 防災・減災加速プロジェクト

## ◆ 施策の方向性

(⑦安全な暮らし,④未来に挑む人づくり)

## (1) 全国的な防災人材育成拠点の形成

- ・ 広域防災センターの施設・設備の充実を図るとともに、国や大学、研究機関と連携した実践的な防災教育プログラムを開発・実施し、防災人材育成の全国拠点化を推進
- ・ 人と防災未来センターをリニューアルし、子どもたちを対象にした新たな体験型・防災教育プログラムを開発・実施するなど、未来の防災の担い手を育成

## (2) 「逃げ遅れゼロ」の実現

- ・ 災害時にすべての県民が適切な避難行動をとれるよう、マイ避難カードや個別支援計画の作成率100%を実現
- ・ スマートフォンアプリや先端のICT技術等を活用した災害情報コンテンツの充実など、県民や訪日外国人等がいつでもどこでも簡単に災害リスク・避難情報にアクセスできる環境を構築

(参考) R2当初計 126,059千円（防災人材育成拠点の整備、「マイ避難カード」の全県展開等）

## 12 まちなか安心プロジェクト

## ◆ 施策の方向性

(⑦安全な暮らし)

## (1) ICTを活用した犯罪捜査の高度化

- ・ AIによる防犯カメラ画像解析や犯罪発生予測など、犯罪捜査の高度化を推進
- ・ 薬物やクレジットカード情報、コンピューターウイルス等の違法取引が行われ、犯罪の温床となっているダークウェブ（一般的なウェブではアクセスできないサイト）など、脅威を増すサイバー空間への対処能力を強化

## (2) 地域安全まちづくりの新展開

- ・ 防犯カメラ等を活かした先進的な見守りシステムの導入など地域の安全安心を高める新たな取組を推進
- ・ 危険箇所を「見える化」する防犯活動支援アプリなど、ICTによる防犯活動の活性化・効率化を推進

## (3) 次世代交通安全基盤の構築

- ・ 交通事故分析システムの高度化や、AIを活用した交通事故発生予測、自動運転社会等を見据えた交通安全施設の適切な管理・新技術導入などにより、県民の交通安全意識向上と、効果的な交通事故防止対策を推進

## (4) 安心して暮らせる街のリノベーション

- ・ 防犯上の不安や災害時のリスクを有する老朽空き家の除却や密集市街地の再整備など街のリノベーションを推進
- ・ 高度経済成長期以降に建設され大量に更新時期を迎える社会基盤施設の老朽化対策を推進

(参考) R2当初計 18,363千円（AI技術を活用した画像解析力の強化、サイバー犯罪への対応力の強化等）

### Ⅲ「ダイナミックな交流・環流」の拡大

#### 13 体験ツーリズムプロジェクト

◎産労、政策、県土

##### ◆ 施策の方向性

(⑩交流五国,⑨御食国ひょうご)

##### (1) 周遊・体験型コンテンツの創出

- ・ひょうご観光本部（DMO）を核に、多様なステークホルダーとの連携体制を構築
- ・DMOによる戦略的マーケティングと企画から商品化まで一貫した事業者支援のもと、収益性の高い魅力ある周遊・体験型コンテンツを創出（世界・日本遺産、自然、農業、スポーツ、医療、ナイトタイムツーリズム等）

##### (2) 受入基盤の強化

- ・多言語案内やキャッシュレス化、Wi-Fi整備はもとより、インバウンド向け2次交通、高級ホテルや長期滞在型施設など受入基盤を充実強化

##### (3) 阪神・淡路大交流圏の形成

- ・大阪・関西万博の開催等を機に更に増加するインバウンドを阪神・淡路ベイエリアに呼び込むため、高級ホテルや大規模な国際会議場などのMICE機能の立地を検討

- ・万博会場と阪神・淡路ベイエリアを結ぶ交通アクセスの整備や、万博サテライト会場の開設等を検討

(参考) R2当初計 61,500千円（マーケティングに基づく効果的な誘客促進、周遊・滞在型観光の推進等）

#### 14 外国人安心プロジェクト

◎産労、健康、福祉

##### ◆ 施策の方向性

(⑩交流五国,①価値創造経済)

##### (1) 外国・外資系企業の集積促進

- ・国際経済地区の指定などこれまでの取組に加え、教育、医療、コミュニティ、宗教など様々な面から外国人のライフスタイルに配慮した環境を整備するなど、外国・外資系企業とそこで働く外国人等が集まり住む魅力ある地域形成を推進

##### (2) 外国人労働者の円滑な受け入れ

- ・外国人労働者の受け入れを希望する企業への雇用制度、在留資格等に関する相談支援体制を構築
- ・技能実習生の技能検定実施主体である県職業能力開発協会の体制を強化し、技能検定受検機会を充実

##### (3) 生活支援体制の確立

- ・外国人住民の日常生活上の課題を検証するモデル事業の実施を踏まえ、医療・教育・買い物など外国人が安心して生活できる体制整備を全県で展開
- ・医療通訳人材の育成や、遠隔通訳システムの活用・普及を推進するとともに、訪日外国人等への医療提供体制のあり方を検討するなど外国人患者の受入環境を充実

(参考) R2当初計 54,531千円（国際経済拠点の形成推進、外国人雇用HYOGOサポートデスク事業等）

#### 15 次世代移動・買い物プロジェクト

◎県土、政策、産労、企業

##### ◆ 施策の方向性

(⑪豊かな生活空間,①価値創造経済)

##### (1) 生活交通の確保

- ・利用者ニーズに合わせて弾力的に運行できるデマンド型交通の普及やICT技術を活用した鉄道・バス等との連携の強化など、多様な手段により日常の生活交通を確保
- ・自動運転など今後確立される最新技術の活用も図りつつ、地方都市や多自然地域の地域特性に応じた公共交通ネットワークの構築を推進

##### (2) シームレスな交通サービスの実現

- ・旅行者をはじめ内外の人々が快適に行き交えるよう、出発地から目的地までのルート検索・予約・決済のワンストップサービス（MaaS）の普及を促進し、シームレスな移動環境を実現

##### (3) 居住地での買い物支援

- ・自動運転やキャッシュレス決済を活用した移動販売、ドローンによる配達、顔認証技術を取り入れた無人店舗など、条件不利地域等で高齢者が安心して買い物ができる仕組みの構築

(参考) R2当初計 59,000千円（MaaSの導入促進、播磨科学公園都市における自動運転実証運行事業等）

## ◆ 施策の方向性 (①豊かな生活空間,③充実する「自分時間」)

## (1) 都市中心部の住環境改善

- ・都市部において、危険・老朽空き家の除却・敷地統合や、植樹・芝生化等のまちなみ緑化の推進により、住環境の改善や防災性の向上を推進

## (2) オールドニュータウンの再生

- ・住民の高齢化と建物の老朽化が進むオールドニュータウンにおいて、若者・子育て世代の転入促進や老朽化した分譲マンションのリノベーションなどを通じて、団地や地域の再生を促進

## (3) 地方都市の古民家再生

- ・優良な住宅ストックや地域資源である古民家を新しい感覚で店舗・住宅等へ蘇らせることにより、歴史ある地方都市のまちなみ景観を保全するとともに、交流・定住人口を拡大

## (4) 多自然地域での多地域居住促進

- ・都市住民の多様なライフスタイルに合わせた多彩な滞在・居住環境と受入体制を各地で整備
- ・空き家の活用促進やハード・ソフト両面からの楽農生活支援等により、多地域居住を楽しむ人を拡大

(参考) R2 当初計 211,407 千円 (オールドニュータウン再生モデル事業、地域楽農生活センターの開設支援 等)

## ◆ 地域版リーディングプロジェクト

地 域	概 要
神 戸	◆ 「ミュージアムロード&HAT」アートプロジェクト [再掲] (参考：R2 当初計 18,100 千円) ・三宮再開発等都心部の魅力づくりの進展を踏まえ、都心に近接する県立美術館を核として、県・神戸市連携のもと、ミュージアムロードに加え、HAT 神戸エリアに現代アート作品を設置し一大アートゾーンを形成
阪神南	◆ 阪神間モダニズム～「具体美術」～再発見プロジェクト [再掲] (参考：R2 当初計 12,687 千円) ・阪神間モダニズムに代表される多様な芸術文化資源を再評価し、そこから広がった「具体美術」を核に、VR や体験型コンテンツを活用したバーチャルミュージアムを展開。芸術文化の魅力あふれる住み心地のよいまちとして住民の地域への愛着を育む
阪神北	◆ 暮らしアートプロジェクト [再掲] (参考：R2 当初計 15,390 千円) ・都市と里山が近接する地域の強みを活かした新しいライフスタイル「アート・ライフ」の創造・実現をめざし、「阪神間モダニズム」をはじめ、歴史・文化・芸術、自然や暮らしをつなぎ、地域ブランドとして発信するアートなまちづくりを展開
東播磨	◆ 都市近郊型の公共交通サービス構築支援プロジェクト (参考：R2 当初計 5,500 千円) ・地域交通の最適化を目指し MaaS の実現を図るため、公共交通の空白地域におけるデマンド型移動支援サービスの導入や複数交通手段のルート検索・予約・決済の一元化、自動運転やグリーンズローモビリティなど未来型公共交通の実証実験を展開
北播磨	◆ 北播磨・山田錦大学プロジェクト (参考：R2 当初計 45,000 千円) ・日本一の酒米「山田錦」をシンボルとして、プラチナぶどう、黒田庄和牛、播州百日どり、巻き寿司、ローストビーフなど北播磨の魅力の詰まった農と食の祭典、都市農村交流イベントの開催、高校生による地産地消活動、新商品の開発など人材育成や交流人口拡大を推進
中播磨	◆ 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」プロジェクト (参考：R2 当初計 38,687 千円) ・「銀の馬車道・鉱石の道」を核として、サイクルモデルルートの整備や馬車運行による誘客促進を図るほか、馬車道の設計者シスレーや沿線出身で「フランス柔道の父」と呼ばれる川石酒造之助など、フランスとの縁をテーマにツーリズム等を通じた相互交流を展開
西播磨	◆ 西播磨山城復活プロジェクト (参考：R2 当初計 44,000 千円) ・白旗城、利神城をはじめ、西播磨の山城や城下町の町並み等を整備・活用し、元気高齢者やインバウンド向けの山城歴史絵巻ツアーやモデルコースの開発、現存しない山城の AR (拡張現実) アプリの制作、眺望や登山道の整備、観光ガイドの養成などを展開
但 馬	◆ 但馬まるごと芸術の郷プロジェクト [再掲] (参考：R2 当初計 18,150 千円) ・豊岡演劇祭や、国際観光芸術専門職大学 (仮称・2021 年開学予定 (認可申請中)) と連携した芸術文化イベント (県民向け公演や芸術講座、小中学生の学びの場の提供等) を但馬全域で展開し一元発信するなど、内外の人々がつながる「芸術の郷づくり」を推進
丹 波	◆ オシャレな田舎 TAMBA プロジェクト (参考：R2 当初計 32,269 千円) ・農家民宿や農家レストラン等の情報一元化、サイクリング環境の整備など、体験・滞在ツーリズムを展開。併せて、特産品 10 品目程度を「TAMBA 十宝」(仮称)として選定し戦略的にブランド化を推進。また、IT やロボット企業の誘致、起業支援等により“シリ丹バレー”を創出
淡 路	◆ インバウンドおもてなしの島プロジェクト (参考：R2 当初計 50,000 千円) ・淡路島の多彩な観光情報に、外国人が手軽にアクセスし、不自由なく周遊することができるよう、国別の嗜好に合わせた Web での情報発信、MaaS の導入検討など公共交通の利便性の向上、御食国あわじの美食が堪能できる環境づくり等を推進